

NISSAN



平成20年度中間報告書



2008

自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日

日産自動車株式会社

もくじ

株主の皆様へ	1
販売・生産及び連結業績の状況	2
中間事業報告	4
業績について	
連結貸借対照表	8
連結損益計算書	10
連結キャッシュ・フロー計算書	11
役員	12
会社の概要	13

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

当社平成20年度の中間報告書をお届けするに当たり、一言ご挨拶申し上げます。

平成20年度上半期の事業環境は、大変、厳しいものとなりました。世界的な金融・経済危機、消費者の信用不安及び自動車市場の後退が重なり、全ての市場及び自動車メーカーに打撃を与えました。また、この混乱は、当社の平成20年度上半期の業績にも、影響を及ぼしました。

当上半期の連結売上高は、前年同期比3.9%減の4兆8,693億円となりました。連結営業利益は、前年同期比47.8%減の1,916億円、連結売上高営業利益率は、3.9%、また、連結中間純利益は、前年同期比40.5%減の1,263億円にとどまりました。これは、円高による為替の影響、米国の市場環境の危機的な悪化、北米市場でのリース車両残存価値の下落及び車種構成の悪化などによるものです。

極めて不透明な現下の経営環境を鑑み、当社はまことに遺憾ながら、平成20年度の通期連結業績予想を、グローバル販売台数を前年度並み、連結売上高を9兆6,000億円、連結営業利益を2,700億円及び連結当期純利益を1,600億円に見直すことといたしました。

当下半期においては、手元資金を確保し収益性を維持するあらゆる対策を講じます。長期的には、新事業計画「日産GT 2012」に掲げた目標の達成に向けた取り組みを進めてまいります。

この危機はいずれ終結し、経済環境も好転するものと考えられます。そのときには、適切な商品、技術及び確かな業績をもって、再び成長軌道に乗る準備が、当社には整っております。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援及びご指導を賜りますようお願い申し上げます。

取締役会長兼社長
最高経営責任者

カルロス ゴーン

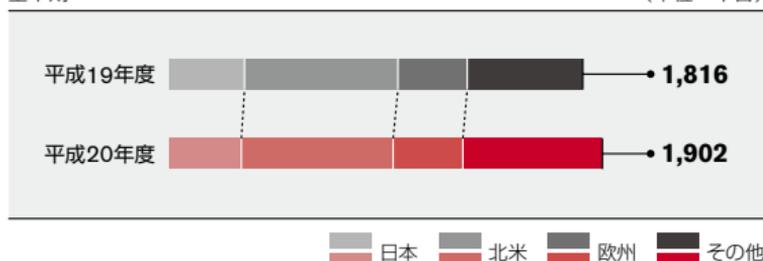


販売・生産及び連結業績の状況

グローバル販売台数(小売り)

上半期

(単位：千台)



上半期

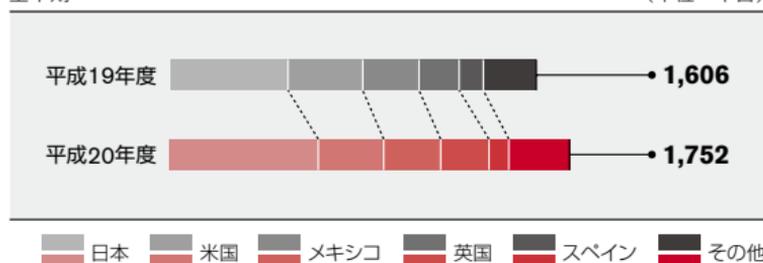
(単位：千台)

グローバル販売(小売り) ^(注1,2)	平成20年度	平成19年度
日本	318	332
北米	666	673
欧州	306	304
その他	612	507
計	1,902	1,816

グローバル生産台数

上半期

(単位：千台)



上半期

(単位：千台)

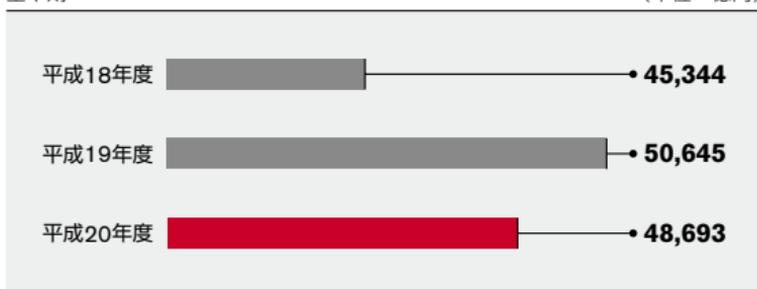
グローバル生産 ^(注2)	平成20年度	平成19年度
日本	650	517
米国	287	328
メキシコ	250	247
英国	212	176
スペイン	87	106
その他 ^(注3)	266	232
計	1,752	1,606

- (注) 1. グローバル販売台数(小売り)には、生産用部品として出荷され、在外会社で組み立てられた車両を含む。
 2. その他の一部は、1~6月ベース。
 3. その他は、台湾、タイ、フィリピン、南アフリカ、インドネシア、中国、ブラジル及びマレーシアの生産台数の合計。

連結売上高

上半期

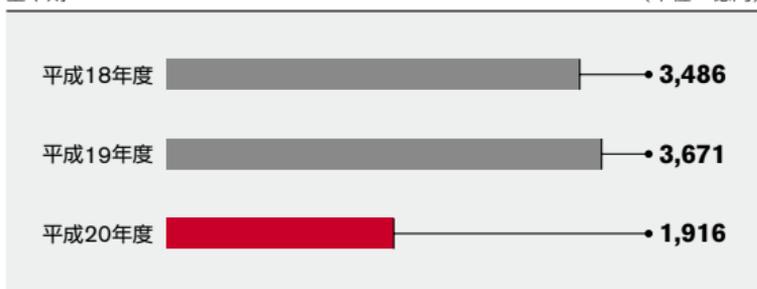
(単位：億円)



連結営業利益

上半期

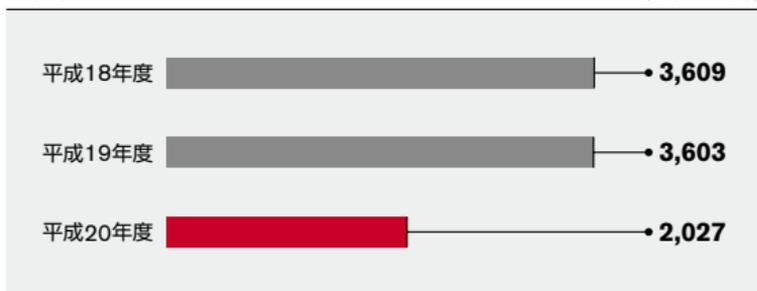
(単位：億円)



連結経常利益

上半期

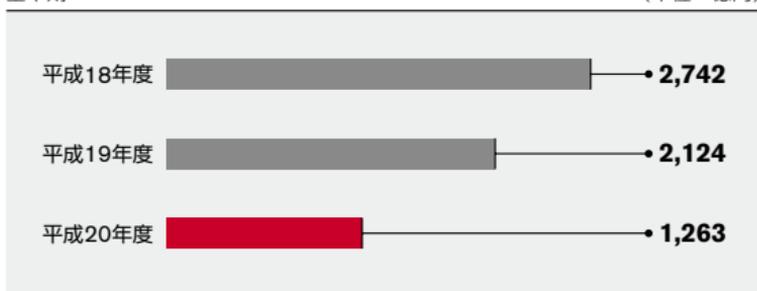
(単位：億円)



連結中間純利益

上半期

(単位：億円)



中間事業報告

平成20年度上半期の販売実績

平成20年度上半期は、大半の先進国市場が後退局面となり、また多くの新興国市場でも成長率が鈍化しつつある中、当社グローバル販売台数は、前年同期比4.7%増の190万2千台となりました。本年度、当社は、グローバルで9車種の新型車を投入する予定ですが、そのうち4車種を上半期に発表いたしました。

日本

国内の全体需要は、前年同期比2.7%減となりました。当社国内販売台数は、前年同期比4.3%減の31万8千台となり、この結果、当社国内シェアは、前年同期比0.3%減の13.1%となりました。

当社では、日本の厳しい排出ガス規制「ポスト新長期規制」を世界で初めて達成した、「エクストレイル」のクリーンディーゼルエンジン搭載車を9月に発売いたしました。好評を博し、発売後1か月間で1千台以上の受注を獲得いたしました。

北米

当社北米販売台数は、前年同期比0.9%減の66万6千台となりました。



米国の全体需要は、前年同期比15.1%減と非常に厳しい環境下にありましたが、当社米国販売台数は、前年同期比3.4%減の51万6千台となり、市場シェアは、前年同期比0.9%増の7.2%に拡大いたしました。

これには、発売後間もない新型「マキシマ」に加え、燃費性能に優れた「ヴァーサ」及び「ローグ」が貢献いたしました。



ローグ

欧州

欧州の全体需要は、前年同期比1.1%増となりましたが、スペイン及び英国における全体需要は、それぞれ前年同期比27.2%減及び11.6%減と急速に低下しており、西欧における市場環境は、厳しさを増しております。当社欧州販売台数は、前年同期比0.7%増の30万6千台となりました。

特に、ロシアにおいては、主に「ティーダ」及び「キャシュカイ」が牽引し、販売台数は、前年同期比28.7%増の8万6千台に伸張いたしました。



キャシュカイ



クリーンディーゼルエンジンを搭載したエクストレイル

その他の地域

当社その他の地域の販売台数は、前年同期比20.6%増の61万2千台となりました。

このうち、中国では、6月に発売した新型「ティアナ」が好調であり、販売台数は、前年同期比23.5%増の27万8千台となりました。また、中東地域でも、前年同期比50.9%増の12万9千台となり、それぞれ、販売台数の増加に大きく貢献しました。



ティアナ

平成20年度上半期の業績

平成20年度上半期の当社連結売上高は、円高による為替の影響などにより、前年同期比3.9%減の4兆8,693億円となりました。

連結営業利益は、前年同期比47.8%減の1,916億円、連結売上高営業利益率は、3.9%にとどまりました。これは、為替のマイナス影響に加え、北米でのリース車両にかかる残存価値の下落リスクに対する引当金増加の影響などによるものです。

地域別では、国内の連結営業利益は、前年同期の1,212億円から740億円に減少いたしました。また、米国、カナダ及びメキシコを含む北米の連結営業利益は、前年同期の1,661億円から199億円、欧州の連結営業利益は、前年同期の398億円から322億円にそれぞれ減少いたしました。その他の地域の連結営業利益は、前年同期の382億円から545億円に増加いたしました。

北米で販売を開始した新型マキシマ

営業外損益は、111億円の収益となり、その結果、連結経常利益は、前年同期比43.7%減の2,027億円となりました。

特別損益は、334億円の損失となりました。これには、米国における希望退職プログラムによる特別退職加算金201億円、固定資産廃棄損73億円及び減損損失25億円が含まれます。

その結果、連結中間純利益は、前年同期比40.5%減の1,263億円となりました。

今後の見通し

北米を中心とする世界経済の急激な減速に伴う販売環境の悪化、北米での金融事業で発生した引当金及び新興国の通貨に対する円高の為替影響などを踏まえ、当社は、本年度の通期連結業績予想を以下のとおり見直すことといたしました。

連結売上高	9兆6,000億円(前期比11.3%減)
連結営業利益	2,700億円(前期比65.9%減)
連結経常利益	2,600億円(前期比66.1%減)
連結当期純利益	1,600億円(前期比66.8%減)

また、通期連結業績予想を大幅に修正することに伴い、当期の配当金につきましても、中間配当金を1株につき11円とさせていただきます。期末配当金につきましては、当下半期の事業環境等を勘案し、平成21年の定時株主総会にご提案し、株主の皆様のご承認を得たいと考えております。さらに、平成21年度以降の配当金につきましても、市場の動向等が明らかになった時点で、すみやかに公表させていただきます。



業績について

連結貸借対照表 (平成20年9月30日現在)

(百万円未満は、四捨五入して表示しております。)

(単位：百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
流動資産	
現金及び預金	500,060
受取手形及び売掛金	764,364
販売金融債権	3,182,626
有価証券	10,451
商品及び製品	921,496
仕掛品	141,903
原材料及び貯蔵品	183,166
その他	874,580
貸倒引当金	△84,885
流動資産合計	6,493,761
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	711,652
機械装置及び運搬具	2,503,353
土地	705,734
建設仮勘定	140,479
その他	487,375
有形固定資産合計	4,548,593
無形固定資産	179,290
投資その他の資産	
投資有価証券	449,113
その他	369,194
貸倒引当金	△4,976
投資その他の資産合計	813,331
固定資産合計	5,541,214
資産合計	12,034,975

(単位：百万円)

科 目	金 額
(負債の部)	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,120,064
短期借入金	1,042,297
1年内返済予定の長期借入金	607,668
コマーシャル・ペーパー	996,292
1年内償還予定の社債	86,674
リース債務	67,462
未払費用	471,604
製品保証引当金	92,371
その他	564,837
流動負債合計	5,049,269
固定負債	
社債	814,434
長期借入金	1,343,528
リース債務	66,141
製品保証引当金	104,157
退職給付引当金	184,393
役員退職慰労引当金	1,911
その他	603,092
固定負債合計	3,117,656
負債合計	8,166,925
(純資産の部)	
株主資本	
資本金	605,814
資本剰余金	804,470
利益剰余金	2,820,449
自己株式	△269,570
株主資本合計	3,961,163
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	4,611
繰延ヘッジ損益	△1,209
為替換算調整勘定	△435,999
その他	△12,607
評価・換算差額等合計	△445,204
新株予約権	1,940
少数株主持分	350,151
純資産合計	3,868,050
負債純資産合計	12,034,975

連結損益計算書 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

(百万円未満は、四捨五入して表示しております。)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	4,869,325
売上原価	3,925,309
売上総利益	944,016
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	126,802
製品保証引当金繰入額	47,519
販売諸費	147,762
給料及び手当	196,022
貸倒引当金繰入額	34,551
その他	199,711
販売費及び一般管理費合計	752,367
営業利益	191,649
営業外収益	
受取利息	12,391
受取配当金	1,731
持分法による投資利益	24,057
為替差益	3,554
雑収入	5,206
営業外収益合計	46,939
営業外費用	
支払利息	16,345
デリバティブ損失	4,453
雑支出	15,042
営業外費用合計	35,840
経常利益	202,748
特別利益	
固定資産売却益	2,815
貸倒引当金戻入額	477
その他	1,422
特別利益合計	4,714
特別損失	
固定資産廃棄損	7,333
減損損失	2,506
北米会社の退職給付債務計算基準日変更に伴う損失	1,949
特別退職加算金	20,087
その他	6,257
特別損失合計	38,132
税金等調整前四半期純利益	169,330
法人税等	33,776
少数株主利益	9,210
四半期純利益	126,344

連結キャッシュ・フロー計算書（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

（百万円未満は、四捨五入して表示しております。）

（単位：百万円）

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	169,330
減価償却費(リース車両除く固定資産)	225,421
減価償却費(長期前払費用)	13,043
減価償却費(リース車両)	161,986
減損損失	2,506
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,468
投資勘定の評価減	155
受取利息及び受取配当金	△14,122
支払利息	68,718
固定資産売却損益(△は益)	△1,383
固定資産廃棄損	7,333
投資有価証券売却損益(△は益)	△314
売上債権の増減額(△は増加)	△13,080
販売金融債権の増減額(△は増加)	104,305
たな卸資産の増減額(△は増加)	△245,565
仕入債務の増減額(△は減少)	△74,545
退職給付会計基準変更時差異の処理額	5,483
退職給付費用	26,938
退職給付引当金の取崩による支払額	△19,589
その他	△31,379
小計	388,709
利息及び配当金の受取額	13,876
利息の支払額	△66,966
法人税等の支払額	△69,001
営業活動によるキャッシュ・フロー	266,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	
短期投資の純増減額(△は増加)	5,478
固定資産の取得による支出	△223,142
固定資産の売却による収入	30,987
リース車両の取得による支出	△424,217
リース車両の売却による収入	218,982
長期貸付けによる支出	△12,297
長期貸付金の回収による収入	6,789
投資有価証券の取得による支出	△13,280
投資有価証券の売却による収入	942
その他	△3,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△413,392
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	25,860
長期借入れによる収入	615,152
社債の発行による収入	73,336
長期借入金の返済による支出	△433,666
社債の償還による支出	△100,010
少数株主からの払込みによる収入	1,160
自己株式の取得による支出	△27
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△43,831
配当金の支払額	△81,496
少数株主への配当金の支払額	△2,594
その他	14
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,898
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,247
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△88,629
現金及び現金同等物の期首残高	584,102
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	503,914

役員

(平成20年9月30日現在)

取締役及び監査役

役職名・氏名	統括業務
代表取締役 会長兼社長	
カルロス ゴーン	グローバルコミュニケーション・CSR
代表取締役	
志賀 俊之	日本事業(MC-J)、 国内ネットワーク戦略(MC-Dealer)、 関係会社管理(MC-AFL)、人事、渉外、 知的資産管理、産業機械事業、マリーン事業、 コーポレート ガバナンス、 グローバル インターナル オーディット
取締役	
西川 廣人	北米事業(MC-NA)、購買、 Sourcing breakthrough
山下 光彦	研究・開発、 TCSX(トータル カスタマー サティスファクション ファンクション)
カルロス タバレス	経営企画、商品企画、市場情報、 ブランド マネジメント、デザイン、 プログラム マネジメント、LCV事業、 Infiniti事業、経理
今津 英敏	欧州事業(MC-E)、生産、SCM
高橋 忠生	渉外、知的資産管理
シエマヤ レヴィー	
バトリック ペラタ	
監査役	
青木 征彦	常勤
大坪 健雄	常勤
中村 利之	常勤
大戸 武元	

会社の概要

(平成20年9月30日現在)

商	号	日産自動車株式会社
英 文 社 名	名	NISSAN MOTOR CO., LTD.
設	立	昭和8年12月26日
資 本 金	金	605,813百万円
従 業 員 数	数	180,133名(連結ベース)
本 店	店	〒220-8623 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地
本 社 事 務 所	所	〒104-8023 東京都中央区銀座六丁目17番1号 電話 03-3543-5523(代)
発行済株式の総数	数	4,520,715,112株
株 主 総 数	数	267,511名
決 算 期	期	3月31日
定 時 株 主 総 会	会	6月
株 式 上 場 取 引 所	所	—東京証券取引所 (証券コード：7201) —NASDAQ(ADR：American Depository Receipts) 比率：1ADR=普通株式2株 (証券コード：NSANY)
株 主 名 簿 管 理 人	人	〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
監 査 法 人	人	新日本有限責任監査法人

日産自動車 企業情報ページ

<http://www.nissan-global.com/JP/HOME/>

IRホームページ

<http://www.nissan-global.com/JP/IR/>

個人投資家向けホームページもあわせてご覧ください。

<http://www.nissan-global.com/JP/IR/INDIVIDUAL/index.html>

個人投資家向けメール配信

下記URLよりメールアドレスを登録された方には、決算発表情報及び日産IRサイトの新着情報などを、いち早く、メールにてご提供いたします。

<https://www.nissan-register.jp/irregister/>

